

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年6月1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3490200213		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 長束		
所在地	広島市安佐南区長束西3丁目1番5	082-230-3030	
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト		
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9		
訪問調査日	平成21年5月28日		

## 【情報提供票より】21年5月8日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 20 年 6 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 10 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 9.8	

### (2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	1 階建て	1 階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	30,714 円
敷 金	( 円 ) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000 ) 無	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	300 円	昼食 600 円
	夕食	600 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 5月8日現在)

利用者人数	16 名	男性 3 名	女性 13 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	8 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.1 歳	最低 71 歳	最高 96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	野村病院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームほのぼの苑長束は、JR長束駅より徒歩5分の住宅地に位置し、付近には畑が点在し、四季折々の自然に触れられる静かな環境にあります。又近隣には大学や小学校がありその立地が若者のボランティアや子供たちとの交流に有意義に生かされているホームとなっています。建物はグループホームとしての機能を十分に備えて新築され、開設以来1年でありながら、認知症高齢者介護への熱意と経験豊かな施設長の弛まぬ努力と全職員の協力で地域よりの理解度も高く、近隣より暖かい眼差しを受け、利用者家族の協力も伴いながら、理念を目標に楽しく明るい支援が行われています。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	開設初年度で前年度の経過はないが、母体会社内のグループホームの経験を参考にされ又アドバイスを受けてつ、運営サービスの向上に努力されている事が窺えた
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員は今回(初回)の評価について前向きにとらえられ、各項目について評価員と検討会話が熱心に行われた
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4)
	運営推進会議では地域に和合した施設を目指して活発な意見が交わされ、近隣の在宅認知症高齢者の相談窓口と見守りマップの作成・利用者と共に楽しむ畑作方法・利用者単独外出時の連絡方法や依頼等が討議されている。今後の議題として地域との災害対策について計画されている
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	半数以上の家族は来訪される回数も多く、親しく意見交換がされ、家族会よりも活発な意見が寄せられてサービスの向上に役立っている。家族への連絡は日常の状況や行事予定など個別にも送付している
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に加入し、地域の清掃や行事には利用者職員が共に参加し、公民館活動には職員が付き添って交流を続けている。施設内や隣接地の畑作をし近隣者のアドバイスを頂くことで、利用者、職員と地域の方々との会話の輪が広がっている

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に全員で作られた理念「私たちは、真心と笑顔を持ち、やすらげる環境の中で一人一人を尊重し、楽しみ・喜びのある生活を送れるように支援します」と事務室壁面に明示されている		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務室に掲示されている理念は、申し送り時に全員で唱和され、日々の目標となっている		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、清掃や行事には声かけを受け積極的に参加している。近隣の畑地を借用し、近隣者より作物の育成方法のアドバイス等受ける事で利用者を交えてのコミュニケーションが容易にできるようになった		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は今回(初回)の評価項目について前向きにとらえられ、評価者との検討会話が熱心に行われた		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開設初年度であり自治会役員の理解を得て会議のスタートは10月よりとなったが、町内会長、民生委員、地域包括センター、家族会の出席を得て、活発な意見交換の場となっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市、区介護保険課へは不明な点がある度に連絡を入れたり、窓口に向って解決してサービスの向上に役立っている		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書送付時に利用者個別に日常生活状況の報告と次の月の行事予定表を添えて送り家族よりの反響を得ることもある		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の会合は運営推進会議の後に開かれ、家族より感想や貴重な意見を頂いて、運営に役立たせている		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	殆どの職員が開設当初から在籍している為チームワークが取れ異動の影響は現在までは出ていない		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体会社内での研修、及び外部研修には積極的に参加を勧め全職員が参加できるよう配慮している		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の同業施設間で管理者職員同行で互いに訪問し合い親交を深め、サービスの向上の参考とし、又職員の意識向上にも役立っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所の方法も利用され、雰囲気をつかんでもらい、本人や家族の納得を得て入所してもらうようにしている、現在は自宅より施設を我が家と認知されている利用者も数人居られる		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は料理や洗濯等日常生活の中で教わる立場にもなり、利用者との会話の場面が多くなるように努めている、訪問当日も畑の草取りについて職員が教えられている楽しそうな光景があった		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所以前の生活歴が十分に把握され、申し送りやミーティングを基に生活の中で利用者がその時々「何を求められているか」を職員は察知できるように訓練と実行に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	施設長は「職員は職場の宝」と表現し職員間でのコミュニケーションは円滑であり、利用者のケアプラン作成の意見交換が容易で、サービスの向上に繋がっている、家族の訪問者、訪問回数も多く率直な意見が汲み取れてプランに反映されている		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者に対応困難になる場合があるが、職員間でカンファレンスを開き家族にも来苑頂いて対応のお手伝いを頂くこともある、利用者の変化がある時はその時点で介護計画の見直しを行うこともある		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	交通が至便である為家族の来訪が多い、近隣大学生により専門的な音楽療法のボランティア、小学生の来訪も度々あり、若者や子供との交流が利用者の単調になりがちな日々活気をもたらせている		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度の往診を受け、利用者が抱えている持病のケアが保たれている。特変がある時は即時看護師が同行して診察を受けている		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用契約書「重度化した場合における対応の指針」で利用者及家族より同意を得ているが協力病院のDrと連携を取りカンファレンスを行い情報を共有して対応する方針である		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員の声かけや苑だよりの文面等にも個人の尊厳が重視されている表現であることが求められている。個人情報のある関係書類は保管庫に施錠され管理されている		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「寄り添うケア」を主体にして、個人の行動は危険が伴わない範囲で制限せず、ゆっくりとお話を聞きながら利用者主体で「やりたいこと」を汲み取る支援に努めている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の献立については出来る限り利用者に関わりかけをし、買い物にも同行してもらっている。料理の下ごしらえ、後片付け等は常に利用者に参加され、協働の良い雰囲気が作られている		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝の時間帯より夜間までいつでも望まれる時間に入浴ができるようにしている。入浴を拒否される方には家族の応援を得て快く受け入れてもらう工夫をしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	近隣よりのボランティアの申し込みが多種（音楽、習字、フラワーアレンジメント、お話し相手等）で利用者は自分に合った楽しみごとに参加されている		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出希望者には可能な限り職員が付き添って散歩などを行っている、利用者と共に行動が日常的な外出支援ともなっている		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設の玄関は暗号式で施錠されているが、居室より園庭に面したドアは開放されている事で気分的な束縛感は緩和されている。玄関からの外出は職員が付き添えば即刻ドアが解放される仕組みが取られている		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員間での防災訓練は実行されているが、近隣より災害時の協力は日頃の会話では話題にしているものの、正式な取り決めは行われていない		次回の運営推進会議で消防署を交えて、近隣との災害対策を話題とする計画が立てられている

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
( 5 ) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量など個人別に克明な記録がされ、申し送りとされている。大多数の利用者は食事は完食されている。		
2 . その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
( 1 ) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関廊下には観葉植物の植木鉢が配置され、コーナーには落ち着いたデザインの家具が置かれて、寛げる雰囲気を作られている、リビングに面してテラスが備えられ、解放されたドアよりいつでも外気に触れることが可能で健康的な配慮がうかがえる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家庭で日常馴染んでいる物品をなるべく多く持ち込むよう要望して、自宅で使用されていた物品を持ち込まれている利用者もあるが、落ち着いた色調のローチェストが施設で備品として整えられ、整頓が行き届いている。清掃を職員と共にリハビリとして行う		